



輝く今井っ子



【学校教育目標：人を思いやり、共に高め合う子】

HPアドレス：<https://imai-e.fukuroi.ed.jp>

新年度がスタートしました

4月7日（金）に入学式、始業式が行われました。今年は23人の1年生が今井っ子の仲間入りをし、全校児童200人となりました。1年生は1クラスで、全学級数は、11学級と昨年度より1学級減となりました。子どもたちは元気いっぱい、活気のあるスタートを切ることができました。今年度も保護者や地域の皆様に支えられながら、今井小独自の特色ある教育活動を進めていきたいと思っております。御支援、御協力をお願いいたします。



【学校経営目標】笑顔が集う学校づくり

「笑顔が集う学校づくり」を学校経営目標に定め6年目になりました。5年間の積み重ねを土台とし、今年度も様々な活動を通して、子どもたちの「笑顔」（変容していく姿、達成感や成就感が表れた表情）を追求していきます。子どもたちの笑顔が、保護者の皆様や地域の皆様へと広がっていくように以下のような学校教育目標、重点目標を立て、職員一同力を注いでいきます。

【学校教育目標】夢や希望を見出し、未来をひらく子ども

【重点目標】認め合い 学び合い 磨き合い

(1) 認め合い

『認め合い』は子ども同士の関わり合いの中で行われ、教師の価値づけや方向づけにより子どもたち自身が主体となり活動に向き合ったとき、自分自身と他者を比較しながらよさや違いを感じ、そのよさや違いに対して、妬んだり、攻撃したりするのではなく、他を尊重する思いへと昇華されていきます。

(2) 学び合い

『学び合い』は目標や課題に向き合ったときに行われ、教師の的確な目標や課題設定により、子どもたち自身が主体的に関わり、自分の思いや考えをはっきりもった上で追求し、他者と交流することでより深い学びへと変化していきます。

(3) 磨き合い

『磨き合い』は他者とともに挑戦している場面で行われ、教師の価値づけや方向づけにより子どもたちが主体的に活動に向かったとき、勝つことやできること等の目に見える表面的なよさだけでなく、その内にあるやり抜く心やあきらめない心等、内在的なものへと価値を高めていきます。

<1学期始業式 校長の話(児童に向けて)>

みなさん、進級おめでとうございます。令和5年度が今日から始まります。3月には卒業式があったり、送別式があったりでお別れがさみしかったですが、新しい仲間、新しい先生を迎え、期待いっぱいの4月になりました。

今井小学校では今年も『笑顔いっぱい、笑顔が集う学校』を目指します。『認め合い』『学び合い』『磨き合い』、笑顔いっぱいの学校を目指していきましょう。昨年度までは『認め合い』『教え合い』『競い合い』でしたから、少し変わりましたね。今年は、昨年度以上に『自分から』を大切にし、自分を高めていくことを大事にしてほしいと考え、『学び合い』『磨き合い』と変えることにしました。覚えておいてくださいね。

さて今、『自分からを大切にし、自分を高めていくことを大事に』と話しましたが、今年みんなには『自分を大切にできる人』を目指してほしいと思います。では、『自分を大切にできる人』とはどんな人なのでしょう。

この写真を見てください。何の写真かわかりますか？テレビで生中継を見た人も多いと思います。これは、WBCで日本が世界一になった時の写真です。凄かったですね。先生は野球が大好きなので一生懸命に日本代表を応援していました。このWBCの主役と言えば、やっぱり大谷翔平選手ではないでしょうか。投打に活躍する姿は圧巻でした。

この大谷選手、高校3年生18歳の時に『人生設計ノート』の27歳の所に、『WBC 日本代表 MVP』と書かれていました。大谷選手は今回のWBCでこの夢を実現しました。

また、高校1年16歳の時には、曼荼羅チャートという自分の夢を実現させるための目標シートには、大きな夢として『ドラフト8球団』から指名とし、それを実現するために何を必要とするか細かく目標を設定しています。大谷選手は常に自分の夢を実現するために明確な目標を設定して取り組んでいることが分かります。決して、恵まれた才能だけで夢をつかんだわけではないんですね。

更に、この優勝チームを率いた栗山監督は優勝後のインタビューで『選手たちが本当に嬉しそうだった。それが僕には嬉しい。選手一人一人が絶対にあきらめないという強い気持ちをもって試合に臨んでいた。そんな選手の姿を見てカッコいいと思った人は多いと思う。一生懸命にやる姿はカッコいいし、人は自分がこうなりたいという思いを持った時に頑張れるんだと感じる。』と話しています。

栗山監督の言葉から、自分はこうなりたいという夢を持ち、強い気持ちで目標に向かって一生懸命にできることが大事だということが伝わってきます。

人はみんな違います、すべての人が同じことを、同じようにできるわけがありません。得意なことや不得意なことがあって当然です。

人と違っていい、できないことがあっていい、間違えたり、失敗してもいい、こういう自分になりたいという思いを持ち、目標に向かって頑張ることができる人、それが、自分を大切にできる人じゃないのかなと思います。

今井小のみんなが『認め合い、学び合い、磨き合い』、自分を大切にできる人を目指し、笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思います。今年一年、また頑張っていきましょう。

これで先生のお話を終わります。

【4月の生活のめあて】

○相手に届く声であいさつをします（年間を通して取り組みます）

○廊下の右側を静かに歩きます

今井小では、毎月「生活のめあて」を決めて、子どもたちに声を掛けながら指導していきます。御家庭でも御協力をお願いいたします。